

[四字熟語シリーズ] 四字熟語1(数字①)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

- いちねんほっき
- ① 一□発起
あることを成し遂げようと決心すること。
- いっとうりょうだん
- ② 一□両断
きっぱりと対処すること。決断が速やかなさま。
- いちいせんしん
- ③ 一□専心
他に心を向けず、その事のみ心を用いること。
- いっしょういっせき
- ④ 一□一□
わずかな時間。短い期間。
- いちごいちえ
- ⑤ 一□一□
一生に一度の出会い。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

- (1) 人生は()だ。人との出会いは大切にしなければ。
- (2) フィギュアスケートの技はどれも()にはできない技だ。
- (3) わたしの祖母は、誕生日に()して、フランス語を勉強することにした。

〔四字熟語シリーズ〕 四字熟語1(数字①)

年 組 氏名

解答

いちねんほつき 読み方にも注意しましょう。「はつき」ではなく「ほつき」です。

① 一念発起・・・あることを成し遂げようと決心すること。

いっとうりょうだん ひとつりの刀で真っ二つに断ち切るところからできた四字熟語です。

② 一刀両断・・・きっぱりと対処すること。決断が速やかなさま。

いちいせんしん 「専心」とは、そのことだけに心を注ぐこと。「専念」と似ています。

③ 一意専心・・・他に心を向けず、その事のみ心を用いること。

いちちよういつせき ひと朝、ひと晩くらいの短い間という意味です。

④ 一朝一夕・・・わずかな時間。短い期間。

いちごいちえ 「一期」は「一生」のことです。

⑤ 一期一会・・・一生に一度の出会い。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 人生は(一期一会)だ。人との出会いは大切にしなければ。

(2) フィギュアスケートの技はどれも(一朝一夕)にはできない技だ。

(3) わたしの祖母は、誕生日に(一念発起)して、フランス語を勉強することにした。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語2(数字②)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

いちじつせんしゅう

- ① 一□千秋
一日が千回の秋が過ぎたように長く感じるくらい
待ち遠しいこと。

ききいっぱつ

- ② 危機一□
はっとするような危険な状態。

せんざいいちぐう

- ③ 千載一□
千年に一度というめったにないチャンス。

いっせきにちよう

- ④ 一□二鳥
一つの行為で二つの利益を得ること。

いちもうだじん

- ⑤ 一網□尽
一度に全部を捕らえること。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) 10年ぶりに親友と再会するまで、()
の思いでした。

(2) 歌のレッスンはわたしにとって、ストレス発散と
技術の上達で()だ。

(3) 次の打順はうちのチームにとって、()
のチャンスだ。

〔四字熟語シリーズ〕 四字熟語2(数字②)

年 組 氏名

解答

いちじつ せんしゅう

読み方にも注意しましょう。「いちにち」とも読みます。

① 一日千秋

…一日が千回の秋が過ぎたように長く感じるくらい待ち遠しいこと。

きき いっぱつ

よく「発」とまちがえるので、気をつけましょう。髪の毛一本ほどの差しかないほど、危険が迫っていることです。

② 危機一髪

…はつとするような危険な状態。

せんざい いちぐう

「載」は年のこと。よい意味で使うことが多いです。「遇」は思いがけなく出会うこと。「遇」を「偶」と間違えないように気をつけよう。

③ 千載一遇

…千年に一度というめったにないチャンス。

いっせき にちよう

一つの石を投げて、二羽の鳥をしとめる意味から。

④ 一石二鳥

…一つの行為で二つの利益を得ること。

いちもう だじん

網を使って、魚をすべてとり尽くす意味から。

⑤ 一網打尽

…一度に全部を捕らえること。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 10年ぶりに親友と再会するまで、(一日千秋) の思いでした。

(2) 歌のレッスンはわたしにとって、ストレス発散と技術の上達で (一石二鳥) だ。

(3) 次の打順はうちのチームにとって、(千載一遇) のチャンスだ。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語3(数字③)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

- いっしょくそくはつ
- ① 一□即発
今にも争いが起きそうなこと。
- いっさいちゆう
- ② 一□一憂
喜んだり気をもんだりすること。
- いっきよりょうとく
- ③ 一□両得
一つのことで同時に二つの利益を得ること。
- しんきいってん
- ④ 心機一□
心もちががらりと変わること。
- しゅうしいっかん
- ⑤ 終始一□
はじめから終わりまで変わらないこと。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

- (1) 決勝戦は白熱した試合で、点を取ったり取られたり
の展開に観客は()した。
- (2) 新しい町に引っ越してきたので、今日から
()がんばりたい。
- (3) 彼女の仕事への考え方は()
していて、わかりやすい。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語3(数字③)

年 組 氏名

解答

いっしょく そくはつ

ちよつと触れるだけで、すぐにも爆発してしまいそうな状態ということです。

① 一触即発 ……今にも争いが起きそうなこと。

いっき いちゆう

② 一喜一憂 ……喜んだり気をもんだりすること。

いっきょ りょうとく

「一挙」とはひとつの動作や一回行うという意味です。

③ 一挙兩得 ……一つのことと同時に二つの利益を得ること。

しんき いったん

「心機」とは心の動きのことです。

④ 心機一転 ……心もちががらりと変わること。

しゅうし いっかん

「一貫」は一つの考え方や方法をつらぬき通すことです。

⑤ 終始一貫 ……はじめから終わりまで変わらないこと。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 決勝戦は白熱した試合で、点を取ったり取られたり展開に観客は(一喜一憂)した。

(2) 新しい町に引っ越してきたので、今日から(心機一転)がんばりたい。

(3) 彼女の仕事への考え方は(終始一貫)していて、わかりやすい。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語4(数字④)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

いっきょいちどう
① 一□一□

一つ一つの動作。また、わずかな動作やふるまい。

いっしんふらん
② 一□不乱

ひとすじに心をうちこむこと。

せんべんばんか
③ 千□万□

ものごとがさまざまに変化すること。

ひょうりいったい
④ 表裏一□

二つの物の関係が密接で、互いが補い合う状態。

にしゃたくいつ
⑤ 二者□一

二つのものごとのうち、どちらかを選択しなければいけないこと。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) A選手は今年、プロ野球か、大学進学か
()をせまられている。

(2) 展覧会をめざして、彼は()に
絵の制作に励んでいる。

(3) 幼稚園の先生は子どもの()を
よく見ている。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語4(数字④)

年 組 氏名

解答

いっきょいちどう

「一挙」は「一挙両得」でも出てきましたね。「一つの動作」の意味でした。

- ① 一挙一動 …… 一つ一つの動作。また、わずかな動作やふるまい。

いっしんふらん

「一心」はここでは、心を一つに集中するという意味があります。

- ② 一心不乱 …… ひとすじに心をうちこむこと。

せんぺんばんか

「千」「万」は数が多いという意味です。

- ③ 千変万化 …… ものがとがさまざまに変化すること。

ひょうりいったい

- ④ 表裏一体 …… 二つの物の関係が密接で、互いが補い合う状態。

にしゃたくいつ

「択」には「選ぶ」という意味があります。

- ⑤ 二者択一 …… 二つのものごとのうち、どちらかを選択しなければいけないこと。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) A選手は今年、プロ野球か、大学進学か(二者択一)をせまられている。

(2) 展覧会をめざして、彼は(一心不乱)に絵の制作に励んでいる。

(3) 幼稚園の先生は子どもの(一挙一動)をよく見ている。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語5(数字⑤)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

しちてんぱとう
① 七 □ 八 □

痛みや苦しみのために転げまわること。

ごりむちゅう
② 五 □ 霧中

手がかりがなく、迷って見当がつかないこと。

にそくさんもん
③ 二 □ 三 □

ひじょうに値段が安いこと。

ちょうさんぼし
④ 朝 □ 暮 □

目の前の違いにこだわって結果が同じになることに気づかないこと。ことば巧みに人をだますこと。

しめんそか
⑤ 四 □ 楚歌

周りが敵ばかりで、だれからも援助のない状態のこと。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) みんなの意見に反対し、わたしは () の状態になってしまった。

(2) 高かった本も売るときは、() にしかならなかった。

(3) 不景気でこれから先のことは、まったく () だ。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語5(数字⑤)

年 組 氏名

解答

しちてんぱつとう

- ① 七転八倒・・・痛みや苦しみのために転げまわること。

ごりむちゆう

「霧中」を「夢中」と書き間違わないように注意しましょう。「五里」とは、約20KM。広さが五里にもわたる深い霧の中にいるくらい先が見えないということから。

- ② 五里霧中・・・手がかりがなく、迷って見当がつかないこと。

にそくさんもん

「文」は銭(ぜに)を数える語。2束でわずか3文の値段しかつかないことから。

- ③ 二束三文・・・ひじょうに値段が安いこと。

ちょうさんぼし

猿にトチの実を朝3つ、夕4つ与えたところ猿が少ないと怒った。そこで、朝4つ、夕3つにしたら、とても喜んだという中国の故事からできたことばです。

- ④ 朝三暮四・・・目の前の違いにこだわって結果が同じになることに気づかないこと。ことば巧みに人をだますこと。

しめんそか

- ⑤ 四面楚歌・・・周りが敵ばかりで、誰からも援助のない状態のこと。

中国の故事(昔の話)からできたことばです。「楚歌」は中国の楚の国の歌。楚の国の項羽が漢の国の軍に周りを囲まれた時に、漢軍の中から楚の歌が聞こえてきて、自分の国楚国

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) みんなの意見に反対し、わたしは(四面楚歌)の状態になってしまった。

(2) 高かった本も売るときは、(二束三文)にしかならなかった。

(3) 不景気でこれから先のことは、まったく(五里霧中)だ。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語6(動物①)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

かちょうふうげつ
① 花□風月

自然界の美しい風物を言う。

りゅうとうだび
② 竜頭□尾

はじめは盛んだが終わりがふるわないたとえ。

けいこうぎゅうご
③ 鶏口□後

大きな団体の一員になるより、小さな団体でもその長になるほうがよいということ。

ばじとうふう
④ 馬耳□風

人の忠告や意見をまったく聞こうとしないこと。

ぎゅういんばしょく
⑤ 牛飲□食

牛か馬のようにびっくりするくらいたくさん食べたり飲んだりすること。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) 四季の()を楽しみながら、暮らすことが夢だ。

(2) いくらおいしいからって、()し過ぎるとおなかをこわすよ。

(3) 彼はクラブの先輩の注意をいつも()と聞き流した。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語6(動物①)

年 組 氏名

解答

かちょうふうげつ

① 花鳥風月

自然界の美しい風物を言う。

りゅうとうだび

② 竜頭蛇尾

はじめは盛んだが終わりがふるわないたとえ。

けいこうぎゅうご

③ 鶏口牛後

大きな団体の一員になるより、小さな団体でもその長になるほうがよいということ。

牛のしっぽよりも鶏の口になれという意味からできた言葉です。

ばじとうふう

④ 馬耳東風

人の忠告や意見をまったく聞こうとしないこと。

「東風」は春風のこと。春風が吹いても馬は喜ばないことから。

ぎゅういんばしょく

⑤ 牛飲馬食

牛か馬のようにびっくりするくらいたくさん食べたり飲んだりすること。

似た意味の四字熟語に**暴飲暴食**があります。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 四季の(花鳥風月)を楽しみながら、暮らすことが夢だ。

(2) いくらおいしいからって、(牛飲馬食)し過ぎるとおなかをこわすよ。

(3) 彼はクラブの先輩の注意をいつも(馬耳東風)と聞き流した。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語7(動物②)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

けいせつのこう

① □ 雪之功

苦心して学問に励むこと。

ししふんじん

② 獅 □ 奮迅

勢いがすさまじいこと。

ちよとつもうしん

③ 猪 □ 猛進

猛烈な勢いでまっすぐに突き進むこと。

こしたんたん

④ □ 視眈眈

すきがあればつけ入ろうと相手の様子をうかがうこと。

しんらばんしょう

⑤ 森羅万 □

この世界のありとあらゆる事物・現象。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) 試合は彼の()の働きで見事逆転した。

(2) 彼女は()から祝福されているような幸せな気分になった。

(3) ()が実り、試験に合格した。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語7(動物②)

年 組 氏名

解答

けいせつのこう

① 蛍雪之功

苦心して学問に励むこと。

夏は蛍を集め、冬は雪を集めて、その明かりで本を読み、勉強を重ねて、後に立派な人になったという中国の昔話から生まれた四字熟語です。

しふんじん

② 獅子奮迅

勢いがすさまじいこと。

「獅子」はライオンのこと。「奮迅」は勢い激しく動き回ることです。

ちよつもうしん

③ 猪突猛進

猛烈な勢いでまっすぐに突き進むこと。

こしたんたん

④ 虎視眈眈

すきがあればつけ入ろうと相手の様子をうかがうこと。

「虎視」は獲物をねらう虎の鋭い目。「眈眈」はじっとねらう様子。

しんらばんしょう

⑤ 森羅万象

この世界のありとあらゆる事物・現象。

「森羅」は樹木が無数に立ち並ぶこと。「万象」は全ての形あるもののこと。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 試合は彼の(獅子奮迅)の働きで見事逆転した。

(2) 彼女は(森羅万象)から祝福されているような幸せな気分になった。

(3) (蛍雪之功)が実り、試験に合格した。

[四字熟語シリーズ]四字熟語8 (書き誤りやすい①)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

- いきとうごう
① 意気□合
心が互いによく通じ合うこと。
- いくどうおん
② 異□同音
多くの人々が口をそろえて同じことを言うこと。
- ぎしんあんき
③ 疑心暗□
心に疑いをもち、びくびくしていること。
- さんみいったい
④ 三□一体
別々の三つのものが心を合わせて一つになること。
- きょうみしんしん
⑤ 興味□々
おもしろみが次から次にわいて尽きないこと。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) 新学期、となりの席の人と()した。

(2) 小さな子はどんなささいなことにも
()だ。

(3) 結婚式に集まった人々は()に彼ら
二人を祝福した。

[四字熟語シリーズ]四字熟語8 (書き誤りやすい①)

年 組 氏名

解答

- ① 意気投合 いきとうごう
心が互いによく通じ合うこと。
「統合」と書かないように注意しましょう。
- ② 異口同音 いくどうおん
多くの人々が口をそろえて同じことを言うこと。
「異口」は「いろんな人の口」なので、「異句」ではありません。
- ③ 疑心暗鬼 ぎしんあんき
心に疑いをもち、びくびくしていること。
「暗鬼」は暗やみにひそむ、けもののことです。「暗記」ではありません。
- ④ 三位一体 さんみいつたい
別々の三つのものが心を合わせて一つになること。
「さんみ」は「三身」ではありません。また反対に「三位」は「さんみ」と
- ⑤ 興味津々 きょうみしんしん
おもしろみが次から次にわいて尽きないこと。
「津々」を「深々」と書かないように注意しましょう。「津々」は絶えず湧き出てくることです。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

- (1) 新学期、となりの席の人と(意気投合)した。
- (2) 小さな子はどんなささいなことにも(興味津々)だ。
- (3) 結婚式に集まった人々は(異口同音)に彼ら二人を祝福した。

[四字熟語シリーズ]四字熟語9 (書き誤りやすい②)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

じゅうおうむじん
① 縦横無□

おもうままにふるまうこと。

ごんごどうだん
② 言語□断

言いようのないひどいこと。

むがむちゅう
③ 無我□中

熱中して我を忘れること。

たんとうちよくにゅう
④ □刀直入

いきなり話の中心に入ること。

ぜったいぜつめい
⑤ 絶□絶命

逃れようのない困難な状態。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) 彼は世界中を()に活動している。

(2) 次の会議の目的を()に尋ねてみようと思う。

(3) 他人の物を盗むとは()の行いだ。

[四字熟語シリーズ]四字熟語9 (書き誤りやすい②)

年 組 氏名

解答

じゅうおうむじん

「無人」と書かないように注意しましょう。

① 縦横無尽

おもうままにふるまうこと。

ごんごどうだん

② 言語道断

「どうだん」は「同断」と書かないように気をつけましょう。また「言語」の読みにも注意しましょう。

言いようのないひどいこと。

むがむちゆう

③ 無我夢中

無我夢中の「むちゆう」は「夢の中」、五里霧中の「むちゆう」は「霧の中」意味によって、漢字は違ってきます。

熱中して我を忘れること。

たんとうちよくにゆう

④ 单刀直入

「短刀」と書かないように注意。「单刀」は一人で刀をふるうこと。

いきなり話の中心に入ること。

ぜったいぜつめい

⑤ 絶体絶命

「ぜったいにやめなさい」の「ぜったい」は「絶対」、四字熟語のときは「絶

逃れようのない困難な状態。

解答

四字熟語は暗記するだけでなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

(1) 彼は世界中を(縦横無尽)に活動している。

(2) 次の会議の目的を(单刀直入)に尋ねてみようと思う。

(3) 他人の物を盗むとは(言語道断)の行いだ。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語10(意味の似た二字)

年 組 氏名

<問題> 次の四字熟語の□に入る漢字を書きなさい。

かんぜんむけつ

- ① 完全無□
欠点が全くないこと。

こうめいせいだい

- ② 公□正大
心にやましいことがないこと。

にしんげっぽ

- ③ □進月歩
たえず進歩すること。

あくせんくとう

- ④ 悪戦苦□
死にもものぐるいで苦しい戦い。

ゆうじゅうふたん

- ⑤ 優□不断
決断できずにぐずぐずする様子。

次の文の内容に合う四字熟語を上①～⑤から選び、()の中に漢字で書きましょう。

(1) ()のすえ、ついに彼は病気に打ち勝つことができた。

(2) 彼は()な態度で生徒会選挙を戦った。

(3) 彼の態度は慎重というよりもむしろ()で困る。

[四字熟語シリーズ] 四字熟語10(意味の似た二字熟語)

年 組 氏名

解答

- かんぜんむけつ
① **完全無欠**
欠点が全くないこと。
「完全」も「無欠」も全て備わっていて足りないところが全くないという意味ですね。
- こうめいせいだい
② **公明正大**
心にやましいことがないこと。
「公明」は公正で私意がなく、明白なこと。「正大」は正しく堂々としていること。
- にっしんげっぽ
③ **日進月歩**
たえず進歩すること。
- あくせんくとう
④ **悪戦苦闘**
死にもものぐるいで苦しい戦い。
「悪戦」も「苦闘」もともに相手が手ごわくて、苦しい戦いのことですね。
- ゆうじゅうふだん
⑤ **優柔不断**
決断できずにぐずぐずする様子。
「優柔」は煮えきらないこと、「不断」は決断しないこと。

解答

四字熟語は暗記するだけではなく、実際に書いて使ってみましょう。頭の中に漢字を浮かべながら書いたり、話したりするとずっと覚えやすいですよ。

- (1) (**悪戦苦闘**) のすえ、ついに彼は病気に打ち勝つことができた。
- (2) 彼は (**公明正大**) な態度で生徒会選挙を戦った。
- (3) 彼の態度は慎重というよりもむしろ (**優柔不断**) で困る。